



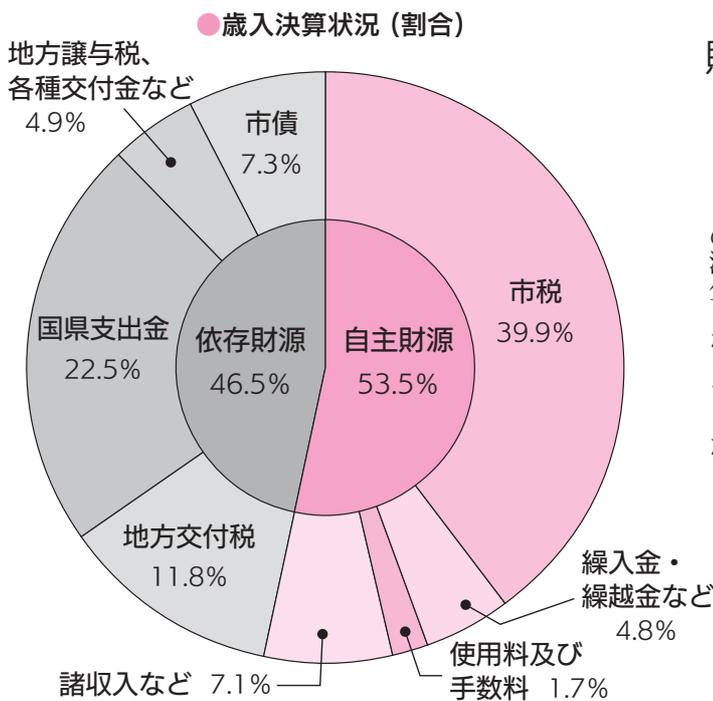
特集2 平成26年度決算

筑紫野市の財政状況を お知らせします

●問い合わせ先 財政課

一般会計歳入 329億7,364万9千円

決算は、1年間に皆さんが納めた市税や国・県からの補助金がどれくらい入ってきて、どのように使ったかという結果報告です。平成26年度の決算と財政の状況についてお知らせします。



歳入は、1・2%の減少

歳入全体としては、前年比1・2%（4億1,590万1千円）の減少となりました。主な増減内容として、市税は、個人市民税や固定資産税、軽自動車税などが増加したため、1・8%（2億3,420万8千円）の増加となりました。また、道路整備事業などの補助金が減少したため、国県支出金が2・4%（1億7,980万1千円）の減少となりました。地方交付税は6・1%（2億5,448万8千円）の減少、地方債が12・8%（3億5,182万1千円）の減少、繰越金が10・6%（1億5,864万4千円）の減少となりました。

区分	決算額	昨年度からの増減額	構成比
市税	131億5,143万6千円	2億3,420万8千円	39.9%
繰入金・繰越金など	15億9,362万8千円	3,026万7千円	4.8%
使用料及び手数料	5億5,228万3千円	1,324万1千円	1.7%
諸収入など	23億3,025万4千円	△6,844万4千円	7.1%
地方交付税	39億229万2千円	△2億5,448万8千円	11.8%
国県支出金	74億1,307万3千円	△1億7,980万1千円	22.5%
地方譲与税、各種交付金など	16億2,465万2千円	1億6,093万7千円	4.9%
市債	24億603万1千円	△3億5,182万1千円	7.3%
合計	329億7,364万9千円	△4億1,590万1千円	100.0%

歳入の主な内訳

- 自主財源 市が自主的に調達できるお金
 - 市税 個人市民税や法人市民税、固定資産税など
 - 繰入金・繰越金 前年度からの繰越金や基金からの繰入金など
 - 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
 - 諸収入など 発掘調査受託事業収入や保育料など
- 依存財源 国や県からの交付金や銀行からの借入金
 - 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金
 - 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
 - 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するもの
 - 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

平成26年度一般会計歳入歳出決算状況

平成26年度筑紫野市一般会計決算額

- 収入額 329億7,364万9千円 (333億8,955万円)
- 支出額 321億4,216万4千円 (320億5,675万4千円)
- 収支差引額(収入-支出) 8億3,148万5千円 (13億3,279万6千円)
- 純黒字額※ 6億5,128万7千円 (6億2,617万4千円)

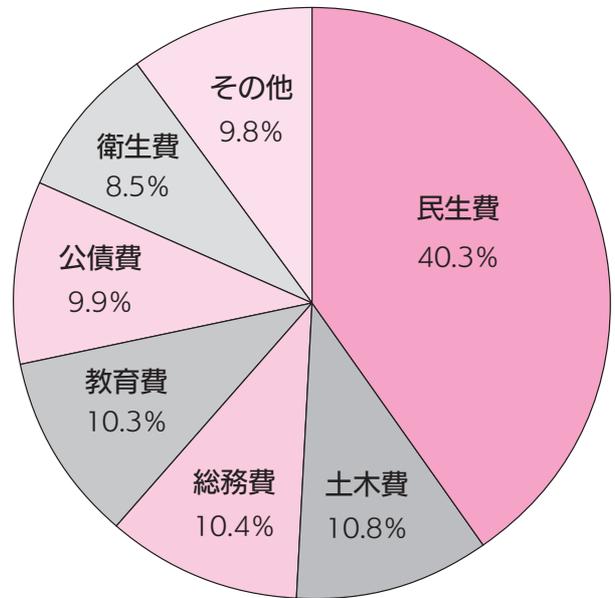
※「純黒字額」とは、「収支差引額」から翌年度に繰越して使うことが決まっている財源を引いた額です。()内は平成25年度の額です。

歳出は、0.3%の増加
増減の主な要因は次のとおりです。

- ・ 民生費は、臨時福祉給付金事業が1億6759万円増加、障害者総合支援法に基づく介護給付費等が1億1557万3千円増加、子育て世帯臨時特例給付金事業が1億3098万円増加、二日市保育所大規模修繕事業が2億1444万円増加しました。
- ・ 土木費は、筑紫駅西口土地区画整理事業が3億9156万2千円減少、市道「上原田線」道路新設事業が9342万8千円減少しました。
- ・ 総務費は、筑紫コミュニティセンター建設事業が4億6940万6千円減少、

一般会計歳出 321億4,216万4千円

● 歳出目的別決算状況 (割合)



- ・ 公共施設等整備基金積立金が1億9887万7千円増加、創生振興基金積立金が1億7805万3千円減少しました。
- ・ 教育費は、小中学校空調設備整備事業が4億7075万7千円増加、筑紫小学校プール改築事業が1億8178万7千円増加、共同調理場施設整備事業が1億1665万円増加しました。
- ・ 公債費は、地方債定例償還元金が1億3345万5千円減少、繰上償還元金が6億円減少しました。

歳出の主な内訳

- 民生費 子どもや高齢者、障害者などの福祉に使われたお金
- 土木費 道路や公園などの補修や建設などに使われたお金
- 総務費 行政の運営や戸籍、税金徴収などに使われたお金
- 教育費 教育や文化・スポーツなどに使われたお金
- 公債費 市の借金の返済費用
- 衛生費 健康診断や予防接種、ごみ処理などに使われたお金
- その他 議会や農・商工業、消防などに使われたお金

費目	決算額	昨年度からの増減額	構成比
民生費	129億4,026万8千円	7億6,369万5千円	40.3%
土木費	34億5,396万4千円	△4億3,478万7千円	10.8%
総務費	33億5,270万円	△6億1,613万1千円	10.4%
教育費	33億1,261万1千円	8億7,291万2千円	10.3%
公債費	31億7,711万3千円	△7億9,410万3千円	9.9%
衛生費	27億4,560万円	△704万2千円	8.5%
その他	31億5,990万8千円	3億86万6千円	9.8%
合計	321億4,216万4千円	8,541万円	100.0%

指標から見る筑紫野市の状況

ざいせいりよくしすう 財政力指数

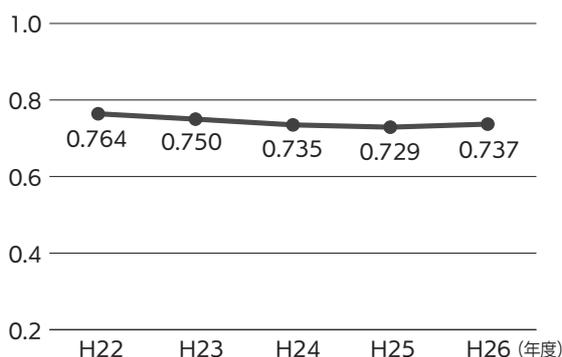
地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指数は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

平成26年度は、前年度より0.008ポイント改善しました。

26年度は **0.737** (前年度0.729)

県内26市中 **2** 位

財政力指数の推移



けいじょうしゅうしひりつ 経常収支比率

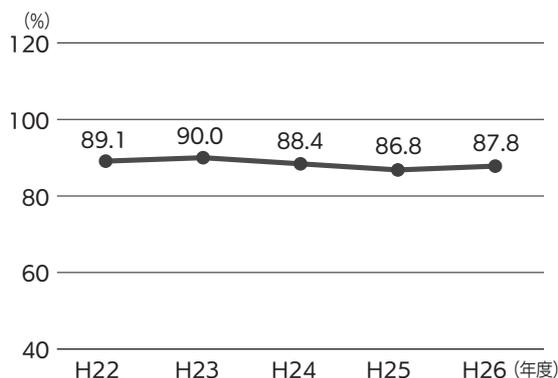
毎年決まって入ってくるお金(地方税、普通交付税など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

平成26年度は、前年度より1.0ポイント上回りましたが、ここ数年はほぼ横ばいで推移しています。

26年度は **87.8%** (前年度86.8%)

県内26市中 **5** 位

経常収支比率の推移



ちほうさい 地方債

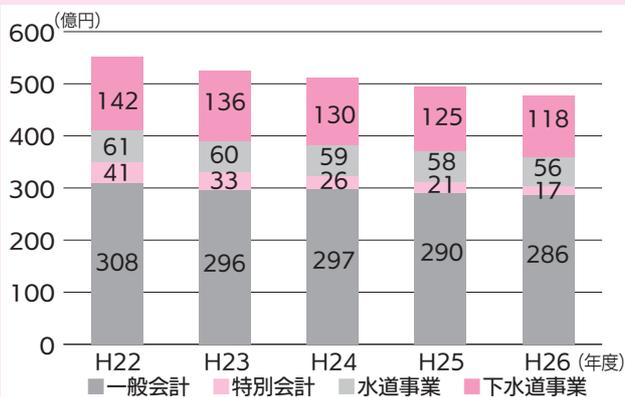
地方債は、自治体の借金のことです。今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

平成26年度末現在高

一般会計	285億9,726万3千円
特別会計	16億9,014万円
水道事業	55億9,416万1千円
下水道事業	118億3,257万9千円

平成26年度は、前年度に引き続き、新たな地方債の発行を抑えたことにより、公債費(借金の返済)が地方債発行額を上回ったことで、地方債の現在高が約17億円減少しました。

地方債の推移



ききん 基金

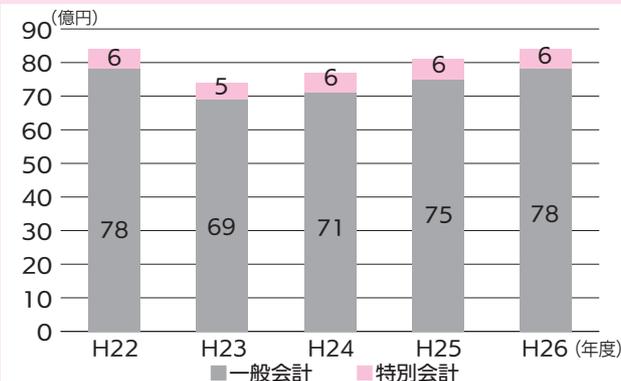
基金は、自治体の貯金のことです。今後も計画的な積立・取崩に努めていきます。

平成26年度末現在高

一般会計	78億4,045万9千円
特別会計	6億3,000万8千円

平成26年度は、前年度に引き続き、新たな基金の取崩しを抑えたことにより、積立金が取崩額を上回ったことで、基金の現在高が約3億円増加しました。

基金残高の推移



健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率は、『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』による指標で、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率からなり、いずれかが早期健全化基準以上の場合には、「財政健全化計画」を定めなければならず、また、将来負担比率を除く、いずれかの指標が財政再生基準以上の場合には、「財政再生計画」を定めなければなりません。

資金不足比率は、公営企業における資金不足額の事業規模に対する割合であり、経営健全化基準以上の場合には、「経営健全化計画」を定めることとなります。

平成26年度決算に基づく本市の比率は、下表のとおりいずれも早期健全化基準等を下回り、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

健全化判断比率	解説	筑紫野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計などの赤字の割合	－ %	12.56%	20.00%
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合(財産区会計を除く)	－ %	17.56%	30.00%
実質公債費比率	標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合	9.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	標準財政規模に対する将来支払う借入金返済額などの割合	12.4%	350.0%	

資金不足比率	解説	筑紫野市	経営健全化基準
資金不足比率 (水道事業・下水道事業・農業集落排水事業)	公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	－ %	20.0%

・実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字額または不足額ともに生じていないため「－ %」表記となっています。

特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額		歳出決算額	
	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成25年度
国民健康保険事業	100億4,868万5千円	96億7,149万1千円	98億4,614万4千円	95億4,348万1千円
住宅新築資金等貸付事業	2,532万8千円	2,105万円	2,015万3千円	646万6千円
奨学資金貸与事業	512万1千円	469万9千円	512万1千円	469万9千円
介護保険事業	57億4,188万2千円	54億3,828万3千円	56億2,510万5千円	53億2,242万8千円
後期高齢者医療事業	20億4,588万円	19億6,326万7千円	20億295万5千円	19億2,736万9千円
農業集落排水事業	2億2,308万円	2億1,952万9千円	2億2,308万円	2億1,952万9千円
土地取得事業	2億8,553万1千円	4億6,645万9千円	2億8,553万1千円	4億6,645万9千円
二日市財産区	5,669万5千円	298万5千円	5,669万5千円	298万5千円
御笠財産区	1,536万5千円	1,293万9千円	447万4千円	879万4千円
平等寺山財産区	3,433万7千円	3,552万4千円	3,390万3千円	3,257万5千円
計	184億8,190万4千円	178億3,622万6千円	181億316万1千円	175億3,478万5千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。(消費税等込)

会計名	収入決算額		支出決算額		
	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成25年度	
水道事業	収益的収支	19億8,751万2千円	18億423万2千円	18億3,343万1千円	16億9,848万3千円
	資本的収支	1億6,582万8千円	1億9,858万7千円	6億7,868万2千円	6億7,835万9千円
下水道事業	収益的収支	22億2,812万9千円	18億1,983万円	20億6,674万1千円	17億3,141万6千円
	資本的収支	9億2,324万6千円	11億9,257万4千円	15億1,323万2千円	18億5,117万1千円
計	53億471万5千円	50億1,522万3千円	60億9,208万6千円	59億5,942万9千円	

平成26年度 実施した主な事業

重点施策 1 行財政改革

■ ふるさと応援寄附金納付促進事業

.....12,124千円

ふるさと応援寄附金の納付促進のため、特産品の送付を行っています。平成26年9月から受付事務の自動化を行い、寄附件数、寄附金額ともに大幅に増加しました。

■ ファイナンシャルプランナー活用事業

.....240千円

市税等の滞納者に多重債務などの問題を抱えている人が多い現状から、金融問題の専門家であるファイナンシャルプランナーによる相談を行っています。

重点施策 2 産業・雇用をつくる

■ 青年就農給付金事業

.....7,500千円

就農初期段階の青年就農者に給付金を交付しました。平成26年度は新たに3人の就農者支援を行いました。

■ 緊急経済対策事業住宅改修工事補助金

.....8,000千円

市民が市内の施工業者によって住宅の改修工事を行う場合に、経費の一部を助成しています。

■ 観光ルート整備事業.....7,982千円

湯町から天拝公園にかけて、新規案内板3カ所、地図補修5カ所、誘導標識1カ所、路面標示板3カ所を設置しました。



設置した観光案内板

重点施策 3 生活をまもる

■ 生活困窮者自立支援事業.....5,490千円

生活の安定・自立に向けて、専門の支援員を配置し、「暮らしの困りごと相談」窓口を開設しました。

■ 市民後見人養成研修事業.....745千円

市民後見人養成研修終了者の資質の維持・向上のため、フォローアップ研修を実施しました。

■ 療育相談事業.....7,077千円

臨床心理士などによる療育相談や療育指導、関係機関への連絡調整などを行っています。平成26年度は、111人の子どもに関して新規相談を受け付けました。

■ 二日市保育所大規模修繕事業

.....220,053千円

入所児童の安全で快適な保育環境の整備のため、耐震化や保育室の修繕を行いました。



修繕が完了した二日市保育所

重点施策 4 共助社会づくり

■ 市民協働事業.....2,256千円

公共的な課題を市民、企業、行政が協働して解決します。平成26年度は、12件の市民提案型事業と2件の市役所提案型事業を実施しました。

■ 筑紫コミュニティセンター建設事業

.....27,851千円

筑紫コミュニティセンターは、平成26年7月に開館し、平成26年度は備品の納入や外構工事などを行いました。

重点施策5 未来をつくる

■ コミュニティ・スクール推進事業

.....971千円
市内の小中学校のコミュニティ・スクール全校完全移行を目指して、平成26年度は小中学校4校をコミュニティ・スクールとして指定しました。

■ 読書活動推進事業

.....14,931千円
読書習慣の定着を図るため、小中学校に学校司書を配置しました。また、各小中学校の図書館の充実のため、図書を購入しました。

■ 筑紫小学校プール改築事業

.....181,787千円
経年劣化していた筑紫小学校のプール改築を行い、平成27年3月をもって完了しました。



改築を行った筑紫小学校プール

平成27年度上半期 ^{かみはんき} 筑紫野市の ^{ちくしのし} 財政運営の ^{ざいせいうんえい} 状況をお知らせ ^{じょうきょう} します

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。今回は、平成27年度の上半期(平成27年9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

● 問い合わせ先 財政課

会計名	予算現額A	収入済額B	収入率 B/A×100	支出済額C	執行率 C/A×100
一般会計	310億1,784万6千円	147億1,252万1千円	47.4%	115億6,191万9千円	37.3%
国民健康保険事業	112億3,200万1千円	44億8,341万1千円	39.9%	47億3,968万4千円	42.2%
住宅新築資金等貸付事業	567万9千円	927万2千円	163.3%	221万8千円	39.1%
奨学資金貸与事業	853万2千円	127万6千円	15.0%	401万7千円	47.1%
介護保険事業	59億6,114万8千円	23億1,472万8千円	38.8%	24億2,046万4千円	40.6%
後期高齢者医療事業	21億4,609万円	4億5,203万3千円	21.1%	9億3,987万3千円	43.8%
農業集落排水事業	2億2,645万9千円	1,514万4千円	6.7%	8,545万9千円	37.7%
土地取得事業	1億5,105万1千円	0円	0.0%	7,585万4千円	50.2%
二日市財産区	320万5千円	135万5千円	42.3%	8千円	0.2%
御笠財産区	1,684万円	10万5千円	0.6%	3万6千円	0.2%
平等寺山財産区	3,355万3千円	231万5千円	6.9%	14万円	0.4%
合計	508億240万4千円	219億9,216万円	43.3%	198億2,967万2千円	39.0%

市民の税負担状況

平成27年9月30日現在の人口 102,404人

・市民一人あたりの市税負担額 69,523円 (市税収入済額71億1,942万5千円に対する額)

財産の現在高

- ・土地 251万6,981㎡ (平成27年3月31日現在)
- ・建物 21万8,008㎡ (平成27年3月31日現在)
- ・基金 84億7,046万7千円 (平成27年9月30日現在)

市債及び一時借入金の現在高

- ・一般会計 281億5,445万5千円 (平成27年度末見込)
- ・特別会計 14億2,883万6千円 (平成27年度末見込)
- ・一時借入金 (全会計) 0円 (平成27年9月30日現在)